

データサイエンス・ラボ

ラボの課題

公開コンペティションである「統計グラフコンクール」や「データ分析コンペティション」に参加し、そこで要求される実データに基づく課題を解決していく。ここで、前者は社会問題、後者は、与えられた購買履歴などのビッグデータを基に知見を導出すること（販売実績アップ策など）が課題である。

（4月～7月はグラフコンクール、8月～3月はデータ分析コンペティション）

春学期の活動報告

●統計の基礎知識

ゼミに配属されてすぐは、今後の活動をスムーズに行うため、教科書を用いながら統計の基礎知識を学んだ。それぞれに担当分野を決め、事前準備を行い、学生中心に学習を行った。

●統計グラフコンクール優秀過去作品の傾向分析

統計グラフコンクールでの優秀賞獲得のために、過去作品の分析を行った。テーマ設定からデザインセンスまで、審査員の評価を上げるためにどのような工夫が必要であるか、ディスカッションを交えて戦略を立てた。

●統計グラフコンクール作品制作

優秀作品の分析から、それぞれ個人でテーマを決め、グラフコンクール作品制作を開始した。制作過程の中で定期的に報告発表を行い、客観的な視点から自分の作品を振り返り、何度も試行錯誤を繰り返すことで、より良い作品に仕上げていった。

●複数人でのデータ分析コンペティションに向けて

グラフコンクールの個人制作という段階から、複数人で一つの分析を行うという段階にステップアップを行う予定である。

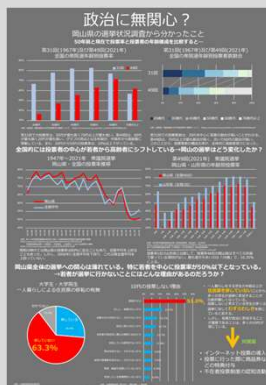
〈ゼミの様子〉



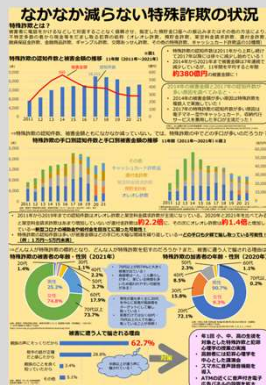
全員での作品の検討



先輩からのアドバイス



〈選挙〉



〈特殊詐欺〉



〈地球温暖化〉



〈地方移住〉

今後の計画・目標

夏休みからデータ分析コンペティションに参加するために、グループワークを中心に活動を行っていく。具体的には、分析手法の勉強をしつつ、テーマ決めとデータ収集、目的に応じた分析を行い、コンペ応募、入賞を目指す。

担当教員: 森 裕一
所属学生数 4 名
ポスター制作: 小林祐介